

新潟県立万代島美術館 開館1周年・新潟テレビ21開局20周年・朝日新聞創刊125周年

## 大英博物館の至宝展

2004年6月26日(土)～8月29日(日)

〈観覧料〉大人:1,200円、大・高生:700円、中・小生:500円

### 世界一周1万年の旅

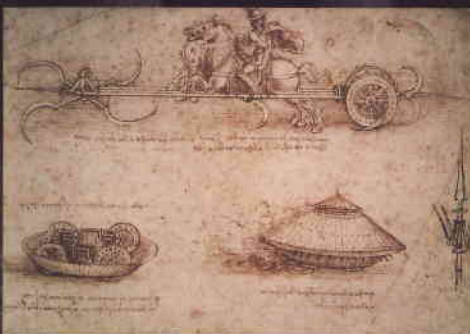
きたる6月、新潟県立万代島美術館の開館1周年と、大英博物館の創立250周年、また新潟テレビ21の開局20周年を記念し、「大英博物館の至宝展」を開催いたします。

この展覧会は、ルーヴル美術館やエルミタージュ美術館と並ぶ世界最大級の博物館である大英博物館が日本のために組み立てた特別なプロジェクトで、コレクションを構成する8つの部門すべてから作品が貸し出されるのは、同館の海外展でも初めての試みになります。多岐にわたる收藏品から精選した約270点を「大英博物館の250年」「古代オリエント世界」「ヨーロッパ」「アフリカ・アメリカ・オセアニア」「アジア」の5セクションに分けて展示します。

古代エジプトのミイラ、古代ギリシアの青年像や壺絵、ローマ時代のモザイク、

ビザンティンの象牙彫やアイコン、レンブラントの版画、レオナルド・ダ・ヴィンチの素描などにとどまらず、ベルシアの陶器、アフリカやハワイの木彫、マヤ文明の遺産、さらにはガンダーラの仏像や中国敦煌の画卷、高麗青磁や日本の浮世絵など、文字通り世界美術史を遍観できる第一級の作品が新潟にやってきます。また会期中には、古代エジプトのパピルス素材にしたワークショップや美術鑑賞講座なども開催される予定です。

人類の文化遺産の殿堂といっても過言ではない大英博物館のエッセンスを凝縮した本展は、世界の文化をパノラマのように一望し、1万年にわたる人類の記憶を追体験する旅になることでしょう。



レオナルド・ダ・ヴィンチ(戦車車両の書作) 1480年代



(クビドとライオン)のモザイク) B.C.70-10年頃



(聖エウスタキウスの聖遺物容器) 1200-1220年頃



(ルイス島のチェス駒) 1150-1200年頃



(金銀角杯) B.C.5世紀



(仏陀立像) 2世紀

(テーベの女性神官のミイラボード) B.C.945年頃

### 大英博物館ミュージアムグッズ

この展覧会にあわせ、ミュージアムショップBANBIでは、大英博物館展で最も人気の高い古代エジプト関連の文房具やアクセサリーの他、映画「ハリ・ポッター」に登場したチェスのレプリカや、子どもたちに大人気のミイラを模した缶ペンケース、ロゼッタストーンをデザインしたマウスパッド、そして大英博250周年のティペアなど、様々なオリジナル・グッズを用意しています。こちらにもぜひお立ち寄り下さい。

### 4月下旬より前売券を販売

大英博物館の至宝展のお得な前売券(大人:900円)を、4月下旬より展覧会前日の6月25日まで、県内各プレイガイドにて販売します。ぜひご利用ください。また、大英博物館の至宝展とほぼ同時期に長岡の県立近代美術館で開催される、ルーヴル美術館展の観覧券と一緒に、お得なセット観覧券も販売する予定です。



# Dick Bruna

all about his work

## 【ディック・ブルーナ展】

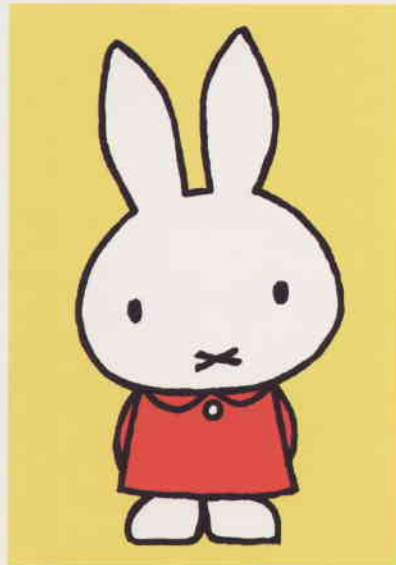
ミッフィーとたのしい仲間たち

2004年5月11日(火)～6月13日(日)

〈観覧料〉大人:800円、大・高生:500円、中・小生:300円



ポスター「ブラック・ベア」を掲げると、たたら、崖ごらんで、読む1961年



ミッフィー(うさこちゃん)の絵本でおなじみのディック・ブルーナ(1927～)はオランダのアーティストです。100冊以上ある彼の絵本は、シンプルな手描きの線と限られた6色で構成され、子供から大人まで世界中の人々に愛されています。また、彼は1950～70年代を通じて、ペーパーバック「ブラック・ベア」シリーズをはじめとした2000冊以上の本の装丁やポスターを数多く手掛けてきました。

本展では、彼が生み出した愛らしいキャラクターの登場する絵本とその原画を中心に、ポスターなどの多彩なデザイン作品、青年時代の絵画、素描などをあわせ約1300点の作品により、ブルーナの仕事とその魅力を紹介します。あわせて、マティスやレジェ、カッサンドル、サビニャックら、ブルーナに影響を与えたアーティストや同時代のデザイナーたちの作品も紹介します。

### ブルーナ展オリジナル・グッズ



キーホルダー、Tシャツ、ストラップ、傘などを揃える予定。展覧会のオリジナルグッズを入手できるのは本展期間中のみです。お見逃しなく。

お子様に自由に絵本やビデオを楽しんでいただける

### キッズ・ルーム

ミッフィー、ボリスなど、おなじみの絵本を実際に手にとって楽しんでいただける絵本コーナー、ミッフィーが登場するビデオなどをご覧いただけるビデオコーナーを備えたキッズ・ルームを会場内に設置します。大好きなキャラクターたちにより一層楽しんでいただけます。

ブルーナ展を記念した限定グッズを美術館内のミュージアム・ショップBANBIで販売します。ポストカード、レターセット、



「うさこちゃんとうさぶつえん」(初版) 1955年

Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv, 1953-2004

### 所蔵品展

From the collection

#### 「新潟の美術2005 新潟に育った作家たち」 「新収蔵作品介绍」

2004年12月18日(土)～2005年2月27日(日)

新潟県ゆかりの作家の中から、新潟の美術に名を残し、かつ後進を育ててきた各分野の物故作家を、所蔵作品の中から紹介します。新潟の美術の深さと豊かさを知ることのできる展覧会。併せて、2003年度に新潟県立近代美術館と万代島美術館に収蔵された作品の一部を紹介します。

#### 「7人の新潟の写真家たち」

2005年3月5日(土)～3月31日(木)

富士写真で知られる岡田紅陽、日本の広告写真を代表する無木研爾、斬新なコンセプトで再評価の機運が高い牛腸茂雄、佐渡の自然を鮮やかに切り取った近藤福雄、写真の黎明期に新潟で早くも芸術写真を発表した塚時雄、雪国や人々の暮らしを暖かい視線でとらえた濱谷浩、建築写真の第一人者である渡辺義雄。新潟にゆかりの写真家7人の作品を紹介します。

### 新潟県立万代島美術館 最初の一年

2003年7月12日に開館した万代島美術館。早いもので、最初の一年が終わろうとしています。開館記念展を含め、9ヶ月間で5つの企画展を開催してきました。現在活躍中の画家たち11人をジャンルを問わず取り上げた「絵画の現在」展、新潟が生んだ世界的美術コレクターの業績をかえりみた「コレクター・駒形十吉の眼 併設 平山郁夫展」、17世紀オランダ絵画を一堂に集めた「フランス・ハルスとハールレムの画家たち」展、「陶芸」の概念を超えた自由な作品が並んだ「アメリカ現代陶芸の系譜1950-1990 併設 坂爪勝幸の陶空間」展、そして、105人の作家たちの作品によって、現在の新潟の美術のありのままの姿を示した「新潟の作家100人」展など、バラエティーに富んだこれらの展覧会の開催を通して、少しずつではありますが、万代島美術館も親しまれてきた気がします。

#### ▶ フランス・ハルス展テープカット

開館記念特別展として行われた「フランス・ハルスとハールレムの画家たち」展の開場式は、新潟県知事や北ホラント州議会の副議長、そしてハルス美術館の館長も参加して、盛大に行われました。



#### ▶ ミュージアム・コンサート バロック音楽の光と影



フランス・ハルス展にちなんで、同時代のバロック音楽のコンサートを行いました。おなじみのバッハをはじめ、日本ではあまり知られていないオランダ古楽を、丸山友裕・洋子ご夫妻によるリコーダーとチェンバロの演奏でお楽しみいただきました。

#### ▶ 絵画の現在展 アーティスト・トーク

「絵画の現在」展の会期中、出品作家の辰野登恵子さんと日高理恵子さんに、ご自身の作品について、その制作意図などを作品の前で語っていただきました。辰野さんはトークとともにスライドで旧作も解説を頂き、樹木を独特の遠近感で描いている日高さんは、参加者と共に、美術館の外まで木を見上げに行きました。



#### ▶ コレクター・駒形十吉の眼 記念講演会

駒形十吉と古くから親交がある日本画家の平山郁夫さんをお招きして、かつての駒形氏との思い出やご自身の活動について、お話ししていただきました。朱鷺メッセのホールが満員となる650人の方が熱心に聴講していました。





## 大原美術館展

2004年9月11日(土)～10月17日(日)  
 〈観覧料〉大人:1,000円、大・高生:500円、中・小生:300円

大原美術館は1930年、大原孫三郎氏によって岡山県倉敷市に創設されました。戦前の日本国内にすでに約20館の博物館施設がありましたが、大原美術館は、当時としては珍しい、西洋近代美術を紹介する日本最古の美術館として誕生しました。

初期のコレクションの形成に尽力したのは、大原氏と同郷の児島虎次郎でした。児島の才能をいち早く見抜いた大原氏は彼を援助し、収集を任せました。児島は1920年に渡仏し、モネやマティス、マルケなど、当時の優れた作家の作品を精力的に購入し、コレクションの核としたのです。本物の西洋絵画をみることが容易ではなかった当時の日本で、大原美術館は画家や美術愛好者たちに西洋美術に接する貴重な機会を提供してきました。

その後、大原・児島両氏の遺志を受け継いだ大原總一郎氏によって美術館は更に成長し、現在では近代西洋美術にとどまらず、近代日本洋画や現代美術、東洋の古美術などの総合的なコレクションを持ち、多くのひとびとを魅了し続けています。

このたびの新潟の展示会では、大原美術館の優れたコレクションの中から70余点を紹介し、西洋絵画の潮流と近代日本洋画の流れを展覧します。



オーギュスト・ルノーワール《泉による女》  
1914年 大原美術館蔵



クロード・モネ《積みわら》1885年 大原美術館蔵

### ▶ フランス・ハルス展記念講演会

京都大学の中村俊春教授に、「特技に磨きをかけよーオランダにおける画家の専門分化」というタイトルでお話をいただきました。17世紀オランダ絵画の読み解き方や、当時の画家たちの努力や苦勞について、分かりやすく解説していただきました。



### ▶ 新潟の作家100人 アーティスト・トーク

日本画、洋画、工芸などの各分野を代表して、8人の作家の方々にご自身の作品や同じ分野の作品についてお話いただきました。彫刻の戸張公晴さんは、自作を持ち上げて鑄造の具合を確認してもらったり、来館者に作品を触ってもらったりと、サービス満点のトークでした。

### ▶ 坂爪勝幸の陶空間 アーティスト・トーク



新潟県中条町で制作活動が続ける坂爪さんは、日本の現代陶芸をリードするアーティストの一人です。ご自身の作品のみならず、アメリカ現代陶芸のコーナーに展示してある作品についても、アメリカ滞在時代の思い出話と共に、分かりやすくお話いただきました。



## チャイナ・ドリーム 中国近代絵画の知られざる流れ

2004年10月23日(土)～12月5日(日)  
 〈観覧料〉大人:800円、大・高生:500円、中・小生:300円

これまでの日本では、中国美術というと主に清代以前の古い文物が紹介されてきました。一方で近年では、国際舞台でめざましく活躍する現代美術の作家に日本でも注目が集まっています。そうした中でこの展示会は、大衆的な視覚文化までを視野に入れた、これまで語られることのなかった中国の近代美術の一つの流れに光をあてるものです。

18世紀に西洋人向けに制作された作品から、19世紀前半の西洋向け輸出用絵画「チャイナ・トレード・ペインティング」、そして、その技法を引き継ぎ、香港や上海で制作された20世紀前半の商業ポスターとその原画、新中国になって制作されたプロパガンダの役目も果たした「新年画」などを紹介します。幻想的な風景であったり、人々の近代的な西洋文化への憧れの反映であったり、国家や人民の理想像であったり、あるいは人民に輝かしい未来を夢想させるものであったりと、まさに近現代の中国の「夢」を描いた作品が一堂に展示されます。



杭蕪英／揮英画室《「安カー・ビール」ポスター》  
1930年代 福岡アジア美術館蔵



作者不詳《廣東十三行》  
1807年 香港芸術館蔵

## ミュージアムショップ BANBI

万代島美術館の開館とともにオープンしたミュージアムショップBANBIには、展示会のテーマにあわせたコーナーのほか、かわいくて面白い、ここでしか買えないさまざまなグッズが置かれています。年間を通しての売れ筋グッズは次のとおり。まずは定番ポストカード(150円)。猫の柄のものが大人気だそうです。



次に万華鏡(400円より)。大小さまざまなものがあります。あと人気なのは、トロイカのソーイングセット(400円)とキーリング(1800円)。トロイカはドイツの雑貨メーカーで、数々の賞を受賞している超人気ブランドです。ソーイングセットは、



裁縫用ハサミの使い勝手が抜群! ネズミの形をしたキーリングはボタンを押すと目が光って、暗いところで鍵をかけるのに重宝するそうです。その他、シンプルなデザインのワイヤーフォトフォルダー(400円)もなかなかの売れ筋です。





## 横山 操 「TOKYO」1968年

この絵の描かれる4年前、1964年に開催された東京オリンピックは、東海道新幹線の開通など大規模に交通網を整備するきっかけとなり、東京の街は開発による騒音と埃に包まれました。首都高速道路の建設もそのひとつで、横山は完成したばかりの道路をハイヤーで何時間も走り回って取材したといえます。

その新生国際都市「TOKYO」を、東京タワーを中央に、眼下を密集したビルの群れがどこまでも広がる光景として描いています。そこには多くの人々が活動する生活と社会があるはずですが、画面には人影もなく、またその気配さえも感じられません。静まりかえった大都市が銀箔の広い空の下に広がる様は、空疎で孤独な印象を与えます。無機質な無数のビルの中にひとり高々と聳える東京タワーが、あたかも人波に孤立する都会の人間像を象徴しているかのようです。

### 展覧会スケジュール

2004	5 May	「ディック・ブルーナ展」 ミッフィーとたのしい仲間たち (5月11日～6月13日)
6 June		開館1周年記念特別展 「大英博物館の至宝展」 (6月26日～8月29日)
7 July		
8 August		
9 September		「大原美術館展」 (9月11日～10月17日)
10 October		「チャイナ・ドリーム」 中国近代絵画の知られざる流れ (10月23日～12月5日)
11 November		
12 December		「新潟に育った作家たち」 「新収蔵作品紹介」 (12月18日～2005年2月27日)
2005	1 January	
2 February		
3 March		「7人の新潟の写真家たち」 (3月5日～3月31日)

※展覧会名は仮称です。また、会期は変更されることがあります。

## ちょっとひと息 朱鷺メッセのお食事どころ



ホテル日航ラウンジ Fountain

美術鑑賞のあとは、お茶やお食事で余韻に浸りたいもの。万代島ビル内や朱鷺メッセ周辺のお食事どころを紹介します。

まず万代島ビル2階の「Cafe Audrey」。日替わりの

パニーニがお勧め。同じフロアのイタリア料理「碧い皿」や日本料理の「波の賦」も、いつもにぎわっています。

ちょっとリッチにランチやディナーを楽しみたい方は、ホテル日航のレストランがお勧め。広東料理を中心とした中国料理レストラン「桃李」やお得なバイキング



グルメもやっているダイニング「SERENA」のほか、書斎をイメージしたラウンジ「Fountain」では、のんびりとくつろぎながら水辺の景色を楽しめます。

夜景を楽しむには、万代島ビル31階の展望室にあるパノラマラウンジがお勧め。新潟の地酒も楽しめます。また、万代島ビルの向かい側には魚市場があって、佐渡沖でとれた新鮮な魚を直売しており、刺身定食やイクラ丼も楽しめます。

ふとこがさびしい学芸員は、いつも佐渡汽船の立ち食いそば屋さんにお世話になる毎日です。こちらも、安くてボリュームたっぷり!



## 新潟県立近代美術館の企画展



### 新潟県立近代美術館

〒940-2021 新潟県長岡市宮関字居掛278-14  
TEL 0258-28-4111 (代表) <http://www.lalanet.gr.jp/kinbi/>

### 新潟県立万代島美術館

- 開館時間**  
午前10時～午後6時(観覧券販売は午後5時30分まで)
- 休館日**  
月曜(月曜が祝日の場合は開館し、翌日が休館)。  
年末年始と展示替期間は完全休館。
- 観覧料(所蔵品展)**  
一般 300円(240円)、大・高生150円(120円)  
中・小生 60円(40円)  
※( )内は20名様以上の団体料金です。また、企画展は観覧会ごとに料金が異なります。土日祝日は小中学生は無料です。
- 観覧料免除**  
新潟県内の小・中・高校・特殊学校が、教育活動として美術館に団体引率をする場合、所定の用紙で事前に(見学の一週間前)申請をすることにより、観覧料が免除されます。図工・美術の授業、社会科見学、遠足などさまざまな形でご利用いただけます。

### 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展

2004年4月24日(土)～6月6日(日)  
近代日本洋画の父ともいふべき黒田清輝の没後80年となる回顧展。重要文化財《湖畔》や《智・感・情》など、東京文化財研究所の所蔵品を中心に、油彩画、デッサン、写生帖など約160点により、初期から晩年にいたる画業をたどります。

### ルーヴル美術館展 中世フランスの秘宝

2004年7月10日(土)～9月12日(日)  
ルーヴル美術館の30万点を超える所蔵品のうち、このたびは中世フランスの彫刻と工芸を紹介。ロマネスクの柱頭彫刻やゴシック時代の自然主義的な彫像、色彩豊かな七宝細工や繊細な彫りを施した象牙作品など、精選された約110点の作品を展示します。

### 落谷虹児展 少女たちの夢と憧れ

2004年10月9日(土)～11月23日(火)  
童謡「花嫁人形」で有名な落谷虹児の回顧展です。新潟県出身の落谷虹児は、少女雑誌の挿絵で大正時代から一世を風靡しました。戦前のペン画やフランス留学中の作品などを通して、改めてその作品の魅力を広くご紹介します。

【開館時間】午前9時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜(ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)。

## HOW TO ACCESS The Niigata Bandaijima Art Museum



- 新潟駅(万代口)から  
バス……………約10分  
(新潟駅バスターミナル6番線「佐渡汽船」行き。「朱鷺メッセ」下車)  
タクシー……………約5分  
徒歩……………約20分
- 自動車(有料駐車場あり)  
新潟中央IC料金所より……………約20分  
紫竹山ICより……………約15分
- 信濃川ウォーターシャトル  
新潟ふるさと村から……………約50分

万代島美術館は、万代橋と佐渡汽船ターミナルの間にある「朱鷺メッセ」内万代島ビル5階にあります。  
※有料駐車場についてのお問い合わせは、新潟万代島総合企画(TEL025-246-8400)にお願いします。

### B・Island

新潟県立万代島美術館ニュース 第3号  
発行日 2004年3月25日  
編集・発行 新潟県立万代島美術館  
〒950-0078 新潟市万代島5-1 万代島ビル5階  
TEL 025-290-6655 FAX 025-249-7577  
URL <http://www.lalanet.gr.jp/banbi/>